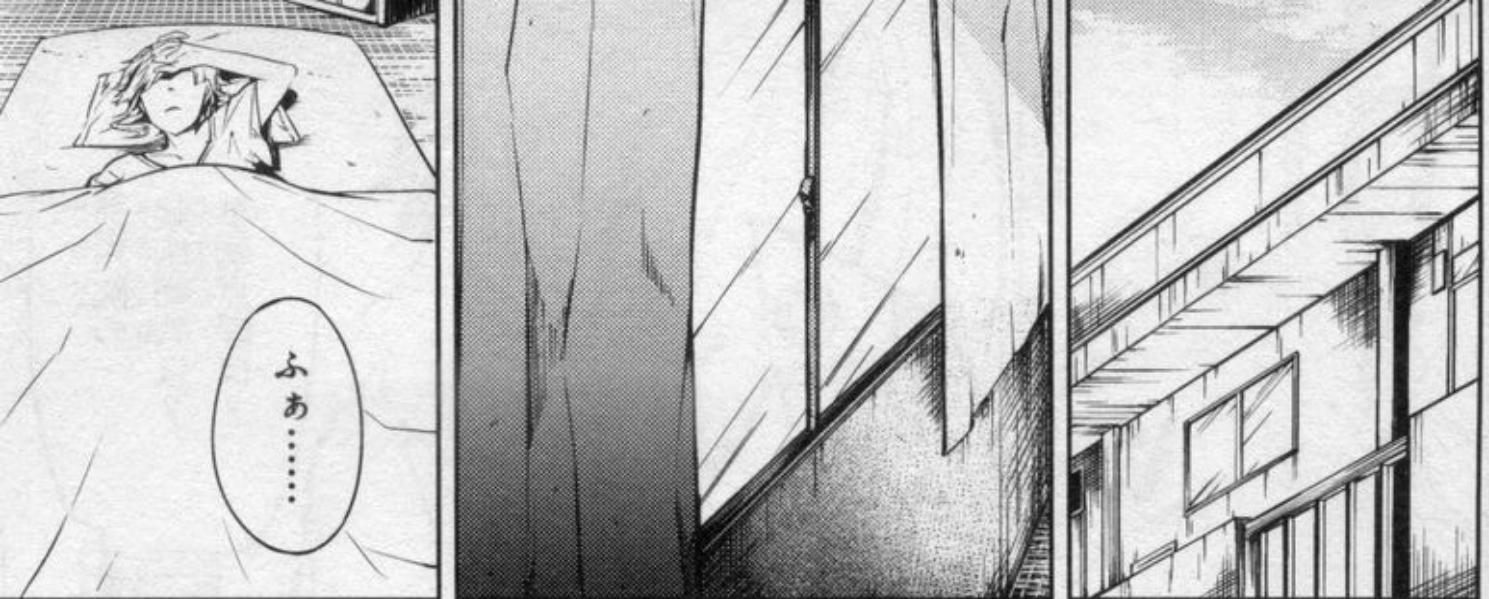
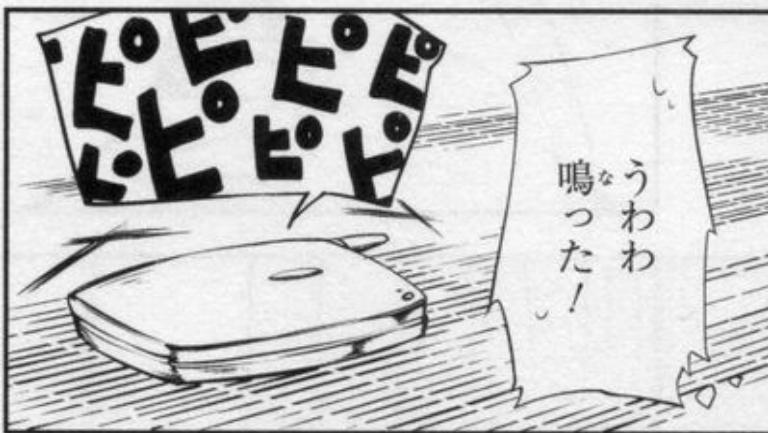


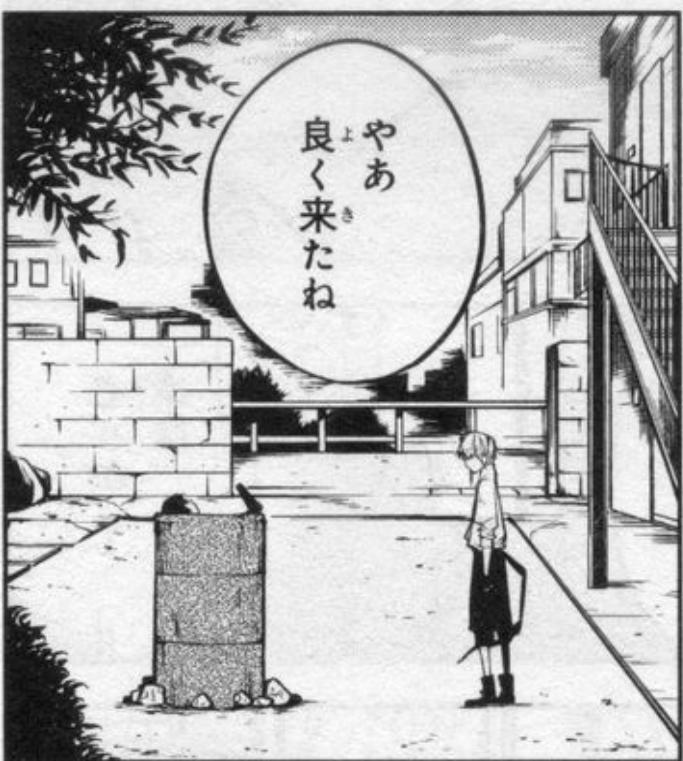


第二話
或る爆弾















うん 君に仕事を
斡旋しようと
思つてね









皆吹っ飛んで
死ンじやうよ！

爆弾で

と

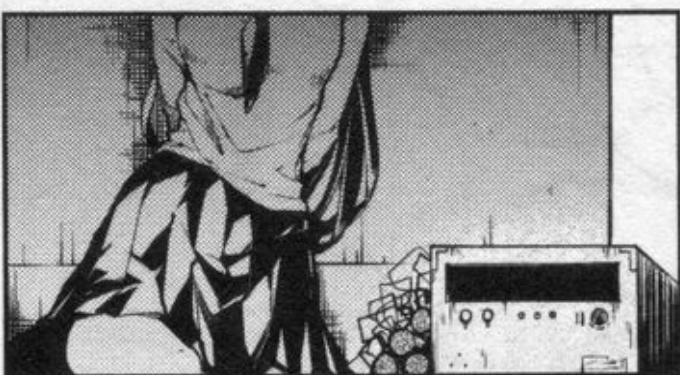


怨恨だ

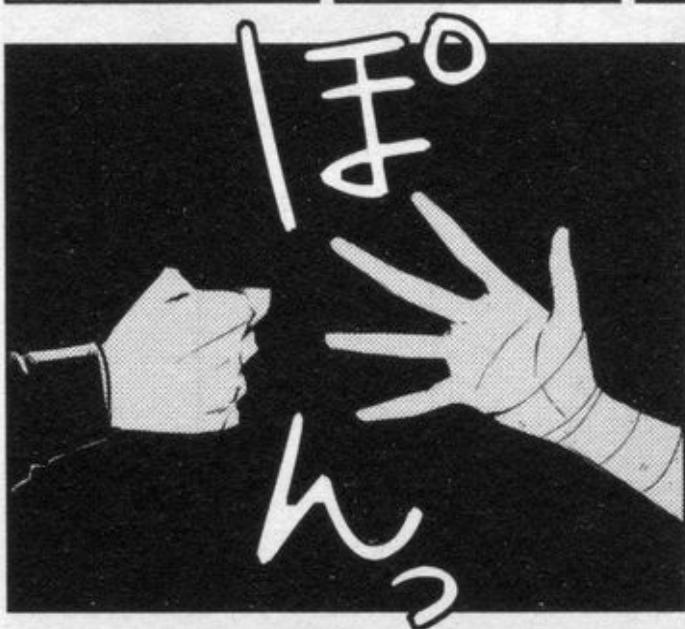


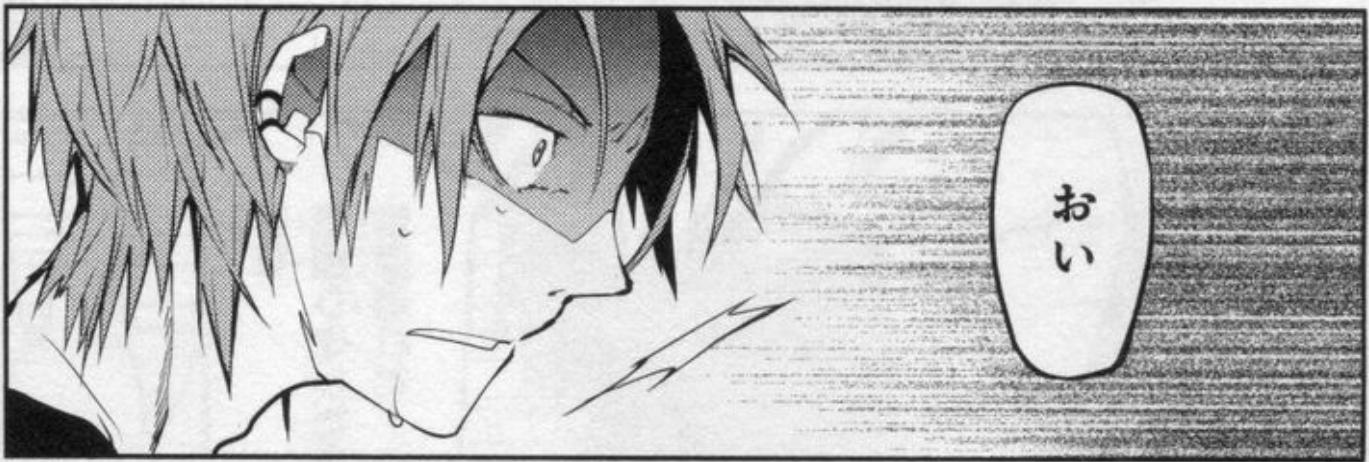
あちやー



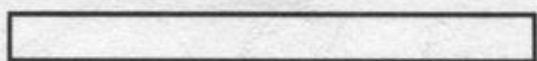
















第一

逸らせてくれれば
後は我々がやるよ

むむ
無理ですよ
そんなの！



この程度の捜査にとつては
武装探偵社にだよ
朝飯前だよ

ううだな
落伍者の演技でもして
気を引いては如何かな

44







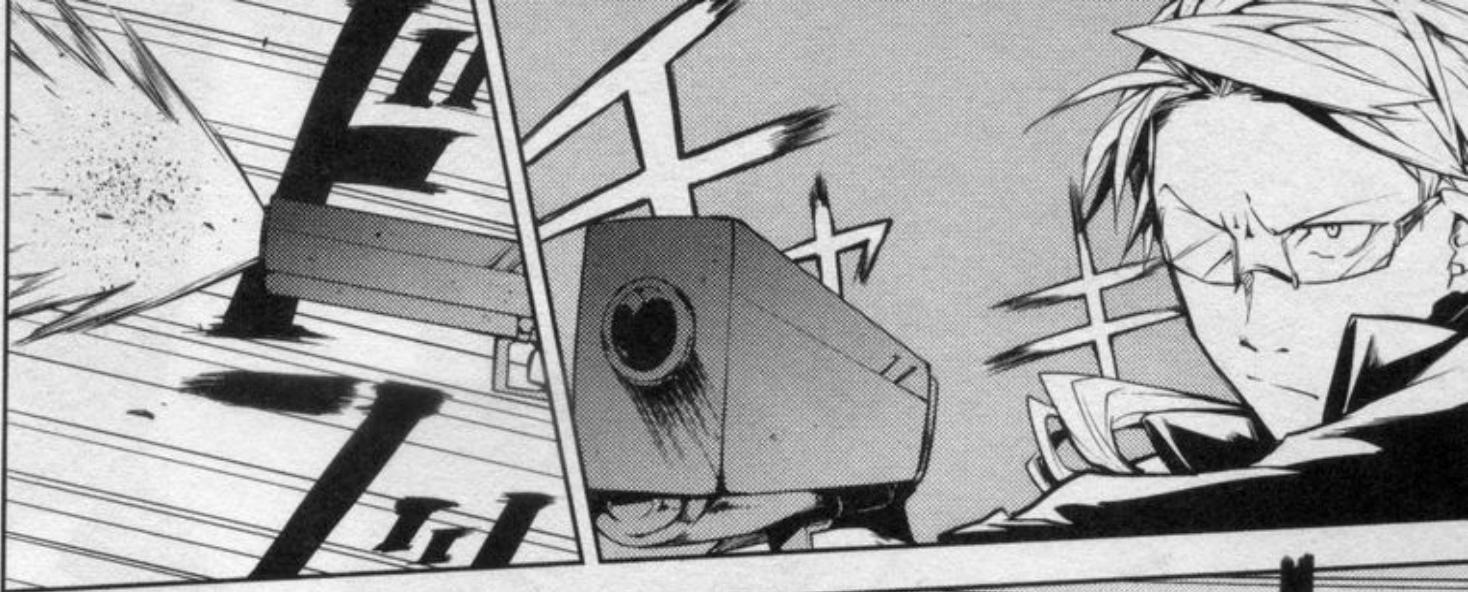
『独歩吟客』

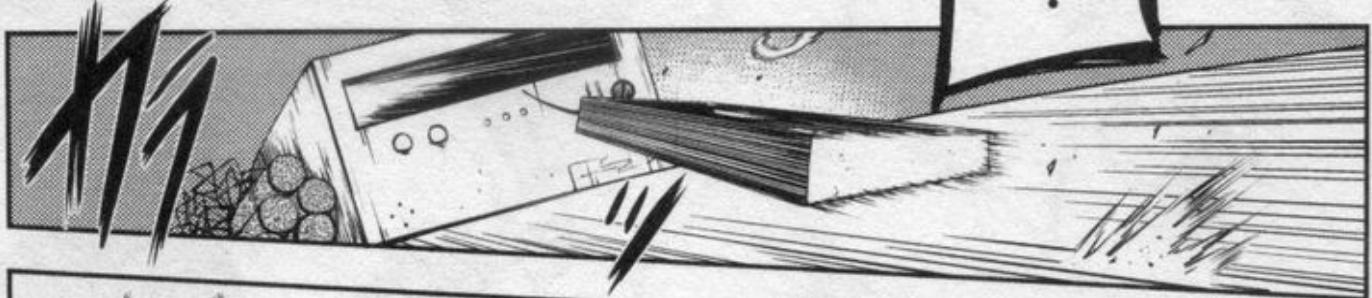
いま
今だ



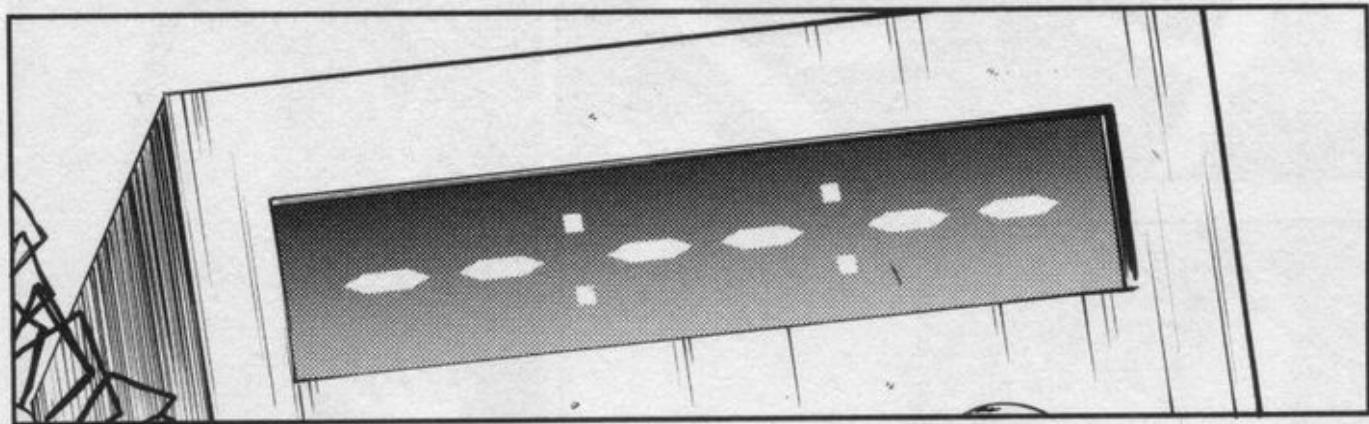
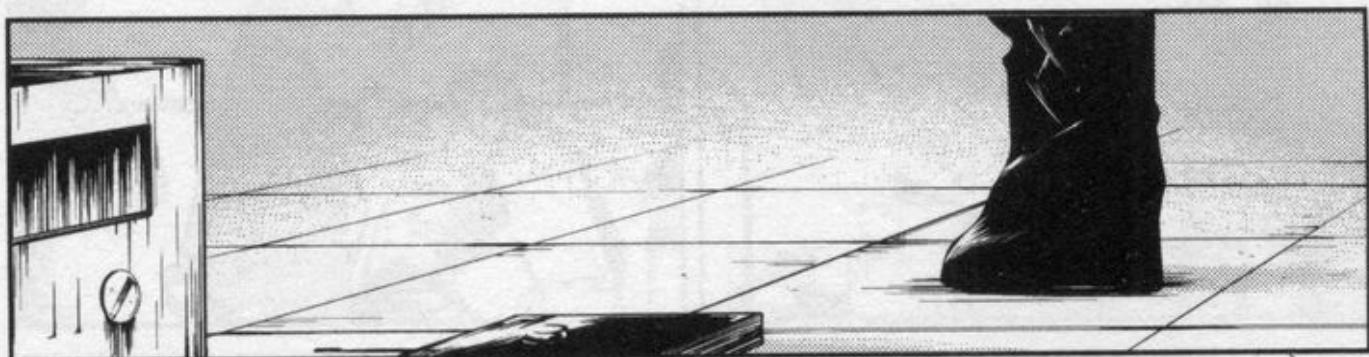
手帳の頁を
て
ちよう
ページ

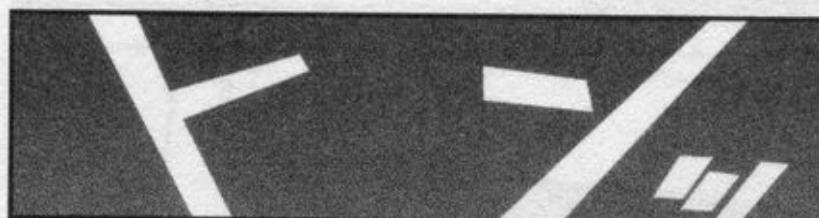
変わる
か
鉄線銃に
ワイヤーガン

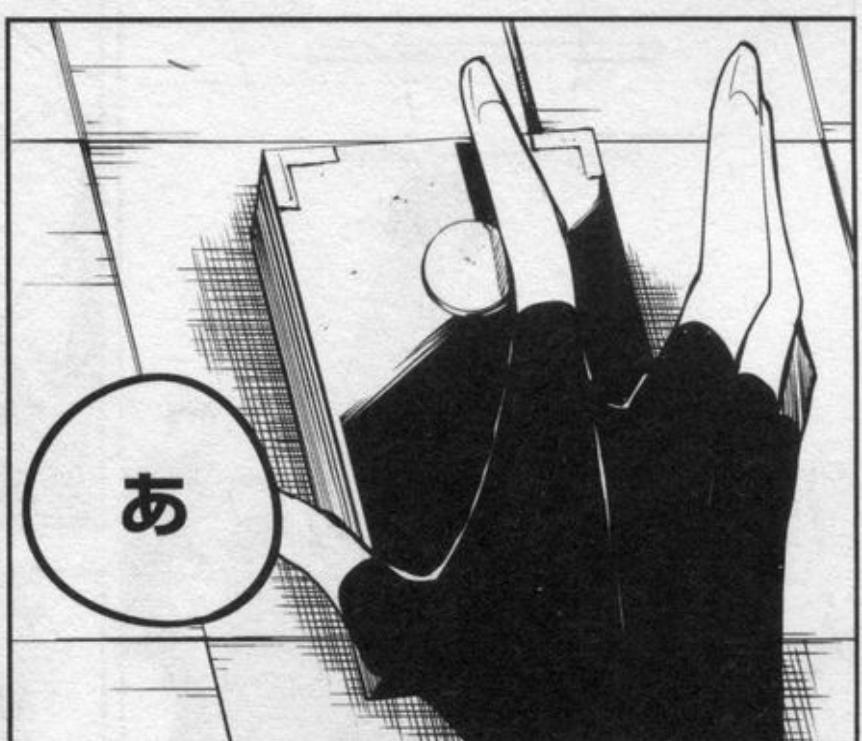








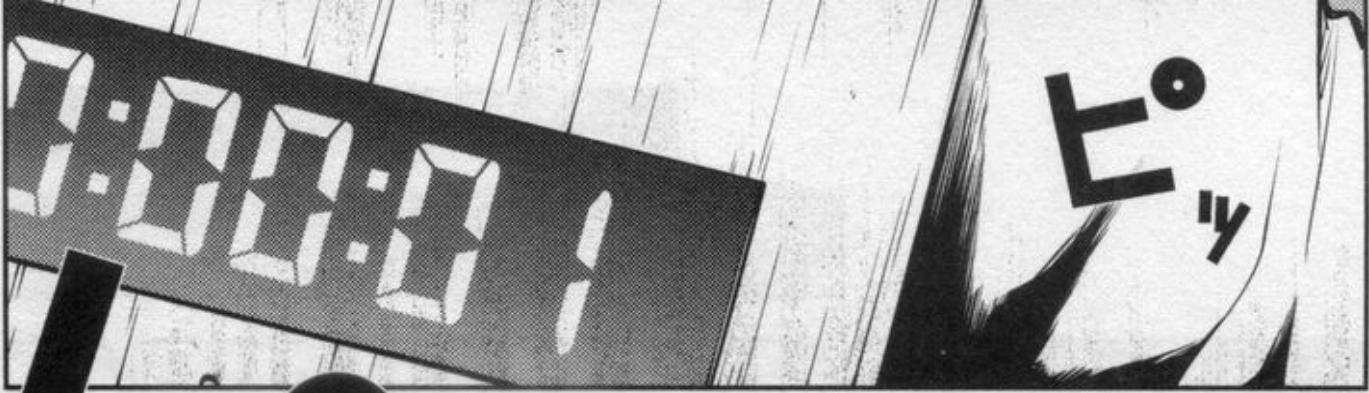


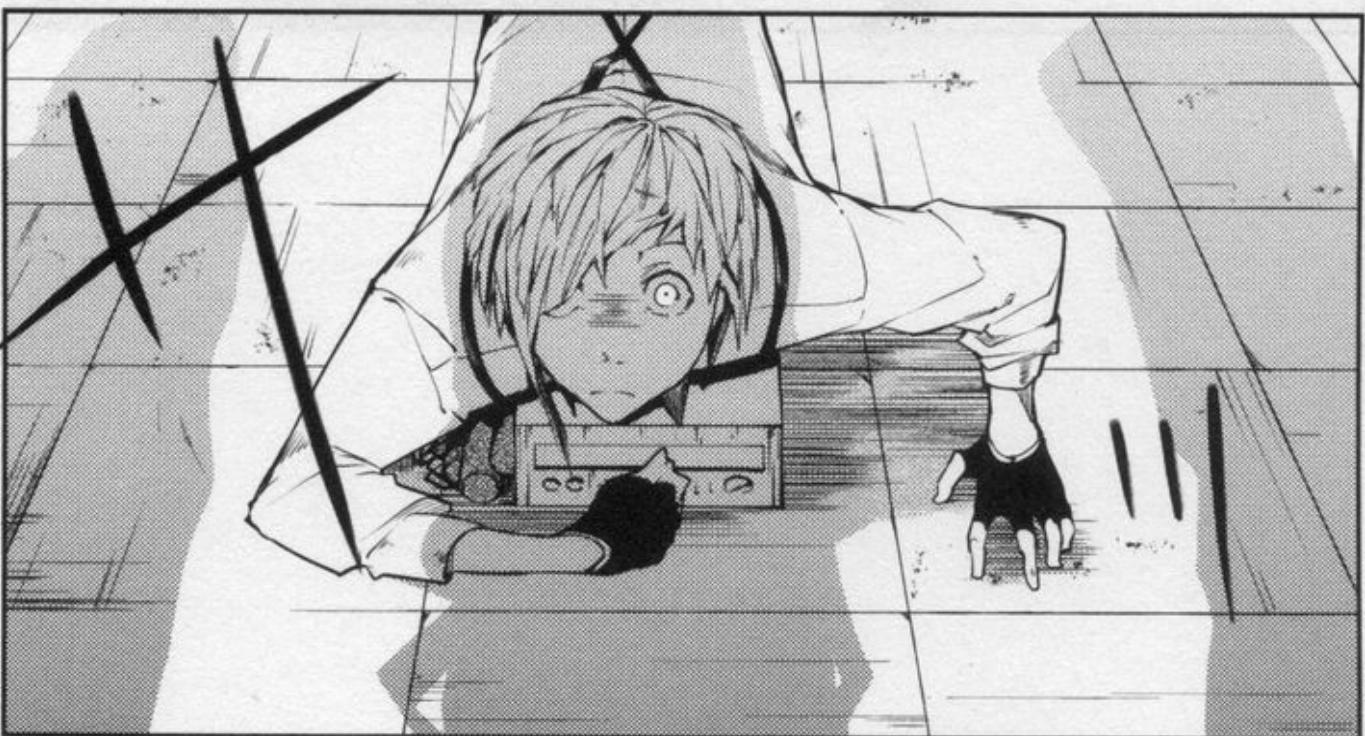


















その通りだ

能力名
のうりょくめい
『人上人不造』
ヒトノウエニヒトヲクライ

武装探偵社
ぶそうたんていしゃ
社長
しゃちょう
福澤 諭吉
ふくざわ ゆきち





僕はついに幹事する
仕事つていうのは

つまり……？

此處の……？

合格だつてさ

ようこそ
武装探偵社へ

うふ よろしく
お願ねがいしますわ

い 痛いた
そこ痛いた
いってば
ナオミごめん
ごめんって！

たにざきじゅんいちろう
のうりょくめいさざめゆき
谷崎潤一郎
能力名「細雪」

その妹
ナオミ

こんな大掛かりな
仕掛けを？

ぼくを試す
ためだけに





すんません
でしたッ！

